

中東遠

グループ討論学ぶ

静岡理工科大で本社就活塾



就職活動を控える学生が面接時のグループディスカッションの手法を学ぶ静岡新聞就活塾(静岡新聞社・静岡放送主催)が22日、袋井市の静岡理工科大で開かれた。

3年生23人が受講し、「20年後に主流になっているコミュニケーションツール」を主題にグループで議論。グループごとに考えを発表し、県西部の企業7社の人事担当者から

「口頭から自分の意見をもち、言えるようにしてほしい」などと助言を受けた。就職活動に向け、社会の情報を得る上での新聞の有用性も学んだ。

講師によると、グループディスカッションは学生の協調性や社交性を探るための採用試験で実施する企業が増えている。山下大悟さん(21)は「グループディスカッションを学ぶ機会はほとんど無い。今から慣れていきたい」と振り返った。

(袋井支局・伊藤龍太)